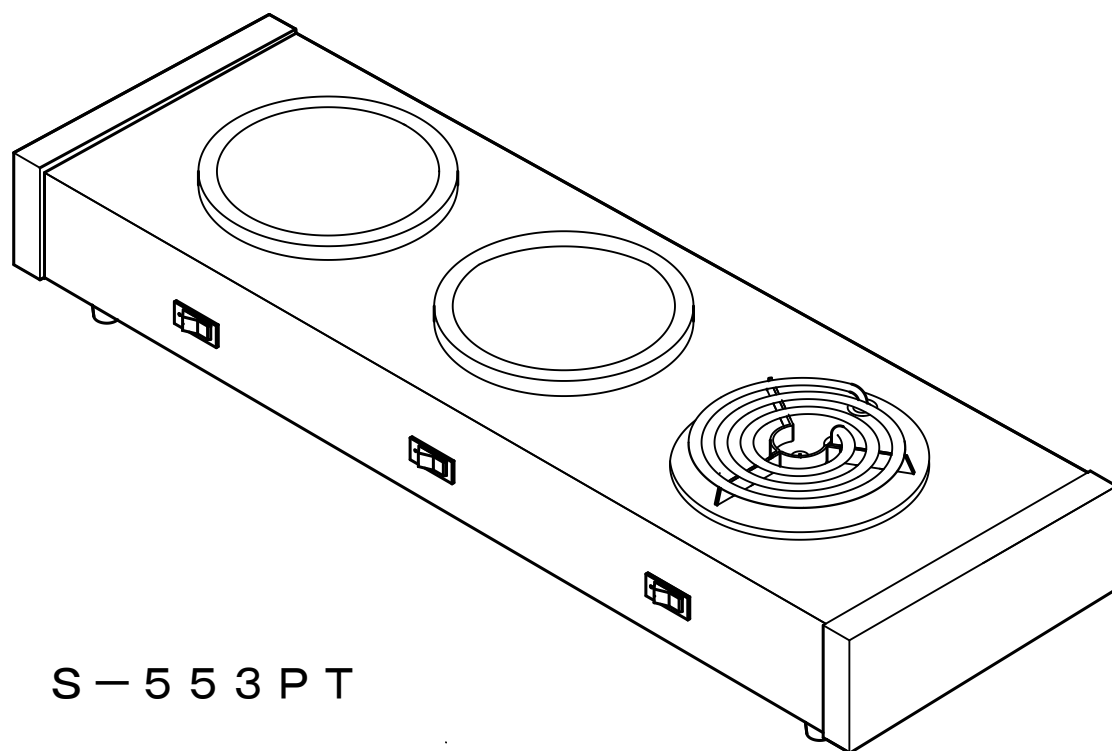


卓上用電気コーヒーウォーマー

品番：S-551PT（ヒーター付 2連）

S-552PT（保温 2連）

S-553PT（ヒーター付 3連）



このたびは、電気コーヒーウォーマーシリーズを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。

目次

特に注意していただきたいこと	1～2
仕様	3
各部の名称	3
ご使用前の注意・ご使用方法	4
お手入れについて	5
故障・異常の見分け方と処置方法	6
長期間使用しない場合	6
アフターサービスについて	7

■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

- ご使用前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

 **警告**

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容

 **注意**

誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

絵表示の例



このような絵表示は、禁止の行為であることを告げるものです。



このような絵表示は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管して下さい。

 **警告**


■本体に直接水をかけない。



感電・火災の原因となります。



水場使用禁止




■分解・修理・改造は絶対にしない。

感電・火災・けがの原因となります。


故障と思われたときは、お買い求め先にご連絡下さい。

分解禁止





■高温多湿（周囲温度が40℃以上湿度80%以上）になる所で使用しない。

電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。




■電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてから使う。

プラグから発火して火災の原因になります。



■機器の上やまわりには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）のものは置かない。

火災の原因になります。



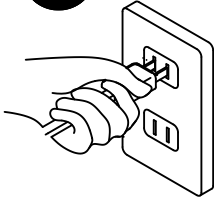

■交流100V以外では使用しない

感電・火災の原因となります。

電源は100V 15A以上の適正配線されたコンセントから取ってください。


■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 注意



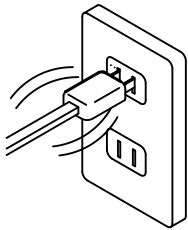

■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして、発火発火することがあります。



■電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。

感電やショートして、発火することがあります。




■電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電やショートして、発火することがあります。

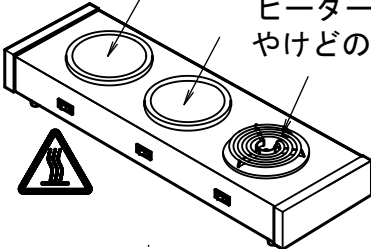


■空のデカンタを置かない。デカンタが割れたり、強度が弱くなり危険です。





■スイッチの操作は必ず、指先で行う。

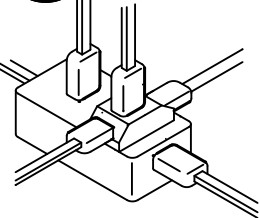

故障の原因となります。




■使用中や使用直後は熱板やヒーターには触れない。やけどのおそれがあります。



触手禁止




■たこ足配線禁止
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



■アース線を取り付ける場合は底面のPE表示のあるネジに取り付けて下さい。

※製品にはアース線は付属していません。別途お買い求め下さい。



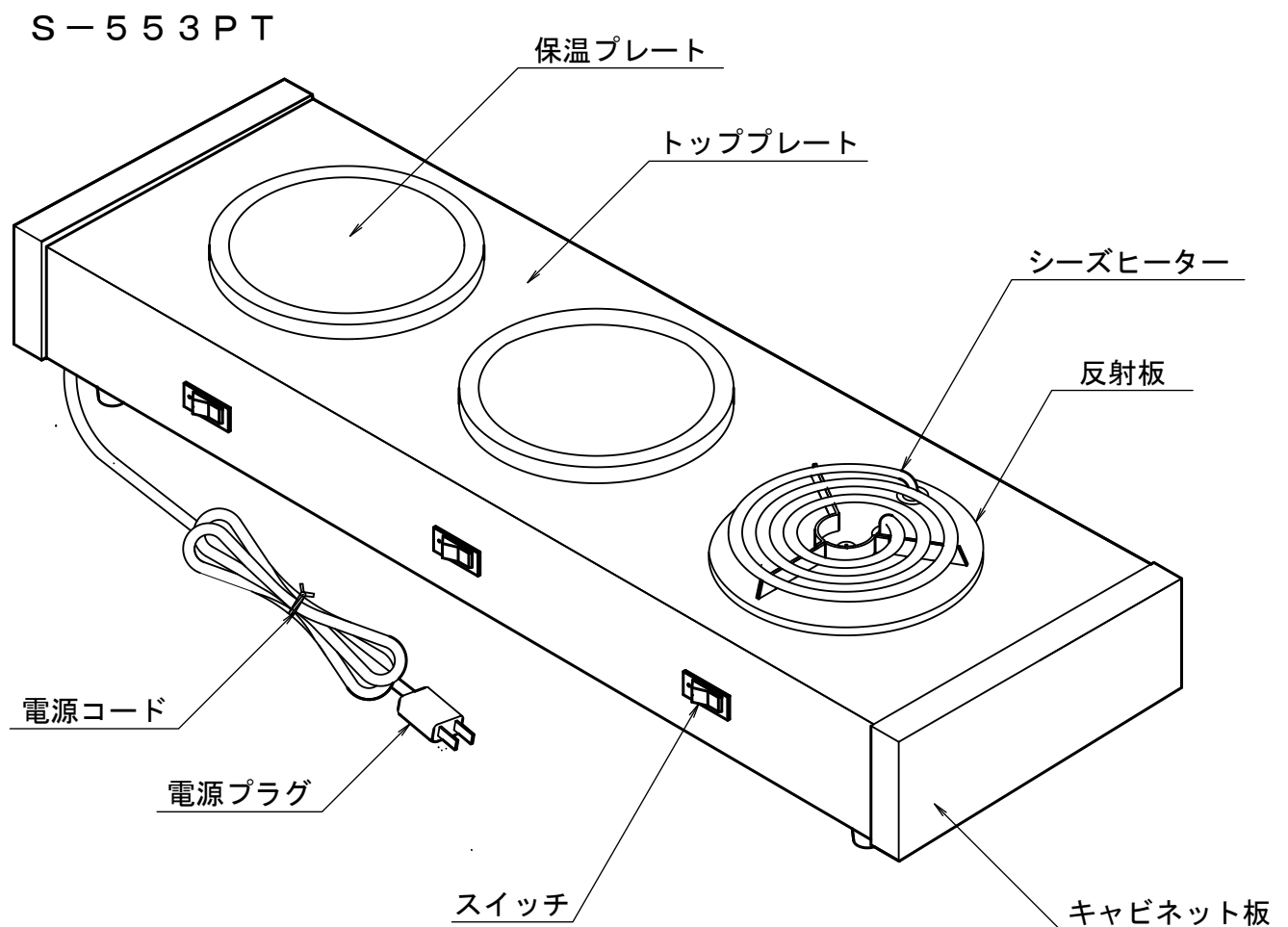
■ヒーターで揚げ物などの油を使う調理をしない。
(S-551PT・S-553PT)

この製品のシーズヒーターはコーヒーポットの湯沸しを目的としていますので温度調節器が付いていません。油が加熱して火災になるおそれがあります。

■ 仕 様

製 品 名	ヒーター付2連コーヒーメーカー	2連コーヒーメーカー	ヒーター付3連コーヒーメーカー
形 式 の 呼 び	S-551PT	S-552PT	S-553PT
定 格 電 圧	AC100V		
定 格 消 費 電 力	655W	110W	710W
デカンタ保温時の 実消費電力	675W	150W	750W
ヒ ー タ ー	PTCヒーター：1個 シーズヒーター：1個	PTCヒーター：2個	PTCヒーター：2個 シーズヒーター：1個
外 形 寸 法	W460×D204×H110(mm)	W460×D204×H102(mm)	W640×D204×H110(mm)
質 量	約2.7kg	約2.4kg	約3.7kg
安 全 装 置	シーズヒーター温度過昇防止装置 (S-551PT・S-553PT)		
電源コードの長さ	1.8m		

■ 各部の名称




上記イラストはS-553PT（ヒーター付き3連ウオーマー）です。
 S-551PTの場合は、保温プレート1個とシーズヒーター1個
 S-552PTの場合は、保温プレートのみ2個となります。

■ ご使用前の注意事項


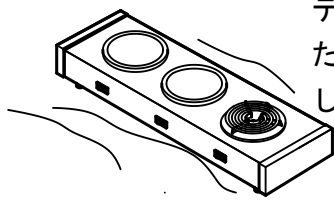
ご使用前には、前頁の「特に注意していただきたいこと」のほか以下についてもご注意ください。

▲ 注意




■ テーブルクロスなどで本体底面の排気孔をふさがない。

テーブルクロスが燃えたり、本体が異常過熱して、故障の原因となります。




■ ヒーターの上で直接、食材などの調理をしない

発火や異常動作することがあります。



■ 不安定な場所で使用しない。

デカンタなどが倒れたりして危険です。



■ 使用后、必ずスイッチの「切」を確認すること

ヒーターが加熱し続けて火災のおそれがあります。

■ ご使用方法

■ 使用方法

- ① ヒーターの上に物が載っていないことを確認の上、コンセントに電源プラグを差し込んでください。
- ② 保温プレートの上には、コーヒーの入ったガラスデカンタを載せてください。
- ③ シーズヒーターの上には加熱する容器を載せてください。空焚きや、揚げ物等油を使用する調理は行なわないで下さい。（S-551PT・553PTに限る）
- ④ 電源スイッチをONにしますと、電源スイッチが点灯し加熱を開始します。
- ⑤ 保温・加熱の停止・中断はスイッチをOFFにしてください。電源スイッチが消灯しヒーターへの加熱を停止します。

安全装置について



■ シーズヒーターの上で空焚きやフライパンなどの調理をしますと、自動的にシーズヒーターへの通電が切れます。（S-551PT・553PT）

この製品に安全の為、安全装置（温度過昇防止装置）が装着されています。本体が異常過熱しますと安全装置が働き、通電を停止します。本体が冷却されますと安全装置が自動的に復帰し、使用可能になります。

安全装置が動作しましたら、機器の全ての電源をOFFにして、安全装置が復帰するまで、機器を自然冷却してください。（目安約15分）また、安全装置は頻繁に動作させますと故障の原因となります。

■ お手入れについて

機器の性能を維持し、衛生かつ機器の故障・劣化などによる異常発生を未然に防止するため、定期清掃は必ず行って下さい。

■ お手入れの際のご注意

- ・ お手入れは、必ず行なって下さい。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないで下さい。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談下さい。
- ・ お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントから抜いて、機器が冷えた状態で行なって下さい。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意して下さい。

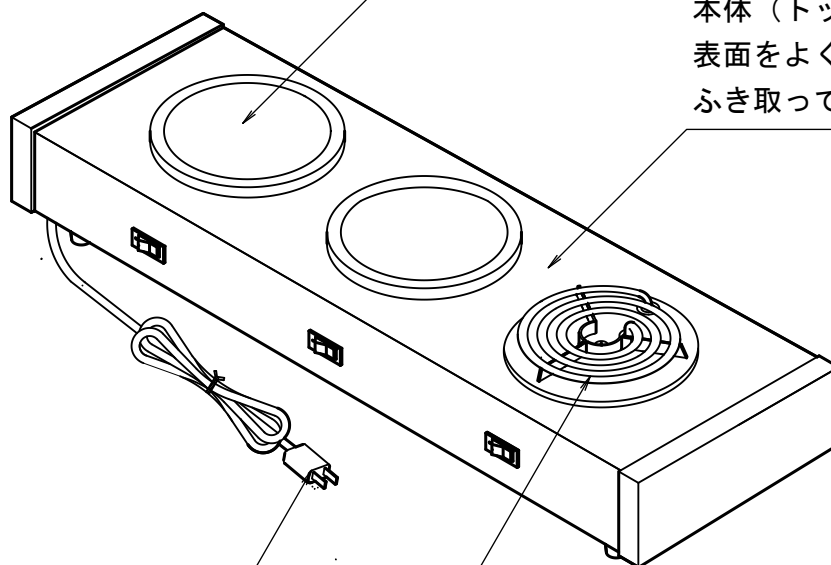
■ お手入れ

- ・ 本体のお手入れは、よく絞ったふきんで拭いて下さい。

保温プレート

表面をよく絞った布巾でふき取ってください。

本体（トッププレート）
表面をよく絞った布巾で
ふき取ってください。



電源プラグ

時々コンセントより抜きプラグの
刃と周囲を乾拭きしてください。

シーズヒーター

ヒーターが冷たいことを確認の上、ナイロンたわし
などで表面を軽くこすって、焦げ付きなどの汚れを
取ってください。

■ 故障・異常の見分け方と処置方法

現象 原因	通電しない	保温プレートが温まらない	ヒーターが熱くならない。	電源ランプが点灯しない	元ブレーカが作動する	コードが熱い	処置方法
電源プラグが抜けている	○	○	○	○			電源プラグを差し込む
電源容量不足（ブレーカー動作）	○		○		○		電気工事店にご相談下さい
ウォーマーヒーターの破損		○					修理が必要です。販売店に連絡
適正配線工事がされていない					○	○	電気工事店に連絡
電源スイッチランプの破損				○	○		修理が必要です。販売店に連絡
ヒーターの断線			○				修理が必要です。販売店に連絡
ヒーターの絶縁不良					○		修理が必要です。販売店に連絡
コード又は電源プラグの劣化	○	○	○			○	修理が必要です。販売店に連絡
温度過昇防止装置の動作			○	○			P 4 の下欄枠内を参照して下さい

■ 長期間使用しない場合

- 長期間使用されない場合は各部を清掃し、電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントより抜いて保管してください。
- 湿度の高い場所での保管は避けてください。ヒーターの絶縁不良の原因となります。

■ アフターサービスについて

■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に

- ・ サービスを依頼する前に6ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご連絡下さい。
- ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせ下さい。
 - ① 製品名・製品番号（銘板に表示のもの）
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・訪問希望日

■ 保証について

- ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、お買い上げ日より「1ヶ年無償修理」といたします。
ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障
 - ⑤ 明らかなお手入れ不足が原因となる故障

※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・ この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

■ 連絡先

- ・ この製品をお使いになった上で、なにか不審な点や不具合な点がございましたら、お買い求めになった販売店又は当社までご連絡下さい。

長年ご使用の電気鉄板焼テーブルの点検を！

愛情点検

- 電源スイッチを入れても、ときどき点灯しないときがある。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 差込プラグ、電源コード、本体などが異常に熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他の異常や故障がある。

このような時は使用を中止し、事故防止のためコンセントから差込プラグを抜いて販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談下さい。

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001:2015/ISO9001:2015認証取得

本社 / 〒570-8585 大阪府守口市東郷通2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店 / 〒570-8585 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。